



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社  
 コード番号 2108 URL <https://www.nitten.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 惠本 司  
 (氏名) 白畑 康  
 TEL 03-6414-5522

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	24,862	△10.1	866	△27.3	1,068	△24.8	715	△27.2
2020年3月期第2四半期	27,643	0.3	1,191	210.7	1,421	131.5	983	102.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,348百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △794百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	50.40	—
2020年3月期第2四半期	69.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	90,379	67,599	74.8	4,759.98
2020年3月期	96,405	66,951	69.4	4,714.90

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 67,599百万円 2020年3月期 66,951百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	△1.8	1,300	△19.5	1,700	△18.5	1,100	△18.0	77.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	15,325,642 株	2020年3月期	15,325,642 株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,123,909 株	2020年3月期	1,125,641 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	14,199,285 株	2020年3月期2Q	14,195,426 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は本日、当社ウェブサイトに掲載予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)のわが国経済は、全世界に広がっている新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いており、個人消費や輸出の一部に持ち直しが見られるものの、先行きは不透明であります。海外経済は日本以上に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、しばらくは回復する見込みがない状況です。

砂糖業界におきましては、消費者の低甘味嗜好を背景に、安価な輸入加糖調製品や高甘味度人工甘味料の増加などにより砂糖消費量は減少傾向にあり、厳しい状況が依然として続いております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間は、砂糖の需要減少による影響が大きく、経費削減に取り組んだものの、売上高は、前年同期比 10.1%減の 24,862 百万円となり、経常利益は、前年同期比 24.8%減の 1,068 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比 27.2%減の 715 百万円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

## &lt;砂糖事業&gt;

海外市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限)において1ポンド当たり期初10.04セントで始まり、4月下旬には新型コロナウイルス感染症の影響を受け世界的な消費の減少や原油価格の続落とレアル安、更に主要国ブラジルの増産見込みから、約13年ぶりとなる9.21セントまで下落しました。その後、8月には中国の砂糖輸入需要とタイのサトウキビ収穫量減少の予測から13.24セントまで上昇しました。砂糖市場は世界需給バランスが供給過多の見込みではありますが、投機筋の買い支えもあり、13.07セントで当第2四半期連結累計期間を終えました。

一方、国内市況につきましては、期初187円～188円(東京精糖上白現物相場、キログラム当たり)で始まり、そのまま当第2四半期連結累計期間を終えました。

ビート糖、精糖とも、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛により、土産物や外食向けの業務用の販売が減少し販売量、売上高とも前年同期を大幅に下回りました。

砂糖セグメントの売上高は前年同期比 12.0%減の 17,164 百万円となり、前年同期比 47.9%減の 384 百万円のセグメント利益となりました。

## &lt;食品事業&gt;

イーストは、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校給食パン用の売上が落ち込みましたが、家庭用の売上増加により、売上高は前年同期を上回りました。

オリゴ糖等食品素材は、液状オリゴ糖の売上が増加したものの、オリゴ糖やベタインの販売量が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

食品セグメントの売上高は前年同期比 2.7%減の 1,101 百万円となりましたが、経費削減等もあり、9 百万円のセグメント利益(前年同期は 22 百万円のセグメント損失)となりました。

## &lt;飼料事業&gt;

配合飼料は、販売量は増加しましたが、販売価格の値下がりにより、売上高は前年同期を下回りました。

ビートパルプは、昨年度生産分の繰越在庫の販売により、売上高は前年同期を上回りました。

飼料セグメントの売上高は前年同期比 4.3%増の 4,119 百万円となり、101 百万円のセグメント利益(前年同期は 26 百万円のセグメント損失)となりました。

## &lt;農業資材事業&gt;

紙筒(移植栽培用育苗鉢)は、ビート用紙筒の出荷が10月以降にずれ込んだ影響により、売上高は前年同期を大きく下回りました。

農業機材は、農業用資材の売上が減少したものの、移植機の売上が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

農業資材セグメントの売上高は前年同期比 28.4%減の 1,210 百万円となり、セグメント利益は、前年同期比 81.0%減の 29 百万円となりました。

### <不動産事業>

不動産セグメントの売上高は、ほぼ前年同期並の 755 百万円となり、セグメント利益は、前年同期比 2.7%減の 413 百万円となりました。

### <その他>

その他の売上高はスポーツレジャー施設及びガソリンスタンドの売上の減少等により前年同期比 15.5%減の 509 百万円となり、131 百万円のセグメント損失（前年同期は 125 百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比 6,026 百万円減の 90,379 百万円で、このうち流動資産は、主にたな卸資産の減少により前連結会計年度末比 7,733 百万円減の 40,255 百万円となり、固定資産は、主に建設仮勘定の増加により前連結会計年度末比 1,706 百万円増の 50,124 百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比 6,675 百万円減の 22,779 百万円で、このうち流動負債は、主に短期借入金の減少により前連結会計年度末比 6,822 百万円減の 11,993 百万円となり、固定負債は、前連結会計年度末比 147 百万円増の 10,785 百万円となりました。

純資産は、主にその他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末比 648 百万円増の 67,599 百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、9,896 百万円の収入となり、前年同期に比べ、2,683 百万円の資金の減少となりました。

これは、主に売上債権の減少で 281 百万円、未収入金の減少で 263 百万円の資金の増加となったものの、たな卸資産の増加で 2,348 百万円、仕入債務の減少で 409 百万円、税金等調整前四半期純利益の減少で 374 百万円の資金の減少となったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、432 百万円の支出となり、前年同期に比べ、1,597 百万円の資金の増加となりました。

これは、主に有形固定資産の売却による収入の減少で 525 百万円の資金の減少となったものの、有価証券の取得による支出の減少で 1,500 百万円、定期預金の収支差による収入で 650 百万円の資金の増加となったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、10,435 百万円の支出となり、前年同期に比べ、1,709 百万円の資金の減少となりました。

これは、主に配当金の支払額の減少で 423 百万円の資金の増加となったものの、短期借入金の収支差による支出で 2,090 百万円の資金の減少となったことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同四半期連結累計期間末に比べ 1,536 百万円減少し、9,772 百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,393	4,772
受取手形及び売掛金	6,987	6,968
有価証券	6,000	5,000
商品及び製品	23,583	12,241
仕掛品	1,895	417
原材料及び貯蔵品	2,603	3,721
その他	1,526	7,134
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	47,988	40,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,647	11,609
その他（純額）	12,707	13,558
有形固定資産合計	24,355	25,167
無形固定資産		
投資その他の資産	368	350
投資その他の資産		
投資有価証券	22,251	23,133
退職給付に係る資産	967	997
その他	487	486
貸倒引当金	△12	△11
投資その他の資産合計	23,693	24,605
固定資産合計	48,417	50,124
資産合計	96,405	90,379

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,493	1,087
短期借入金	11,752	1,966
未払法人税等	468	379
その他	5,101	8,560
流動負債合計	18,815	11,993
固定負債		
長期借入金	239	295
役員退職慰労引当金	22	17
退職給付に係る負債	4,655	4,582
その他	5,721	5,889
固定負債合計	10,638	10,785
負債合計	29,454	22,779
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,420	8,418
利益剰余金	42,730	42,736
自己株式	△2,327	△2,314
株主資本合計	57,103	57,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,826	10,436
繰延ヘッジ損益	△0	1
退職給付に係る調整累計額	21	42
その他の包括利益累計額合計	9,847	10,480
純資産合計	66,951	67,599
負債純資産合計	96,405	90,379

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	27,643	24,862
売上原価	19,572	17,358
売上総利益	8,070	7,504
販売費及び一般管理費		
販売費	5,341	5,172
一般管理費	1,537	1,465
販売費及び一般管理費合計	6,879	6,638
営業利益	1,191	866
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	280	292
持分法による投資利益	12	5
その他	32	21
営業外収益合計	327	320
営業外費用		
支払利息	40	50
固定資産処分損	34	46
その他	21	21
営業外費用合計	97	118
経常利益	1,421	1,068
特別利益		
固定資産売却益	31	-
特別利益合計	31	-
特別損失		
固定資産処分損	29	20
その他	0	-
特別損失合計	29	20
税金等調整前四半期純利益	1,422	1,048
法人税等	439	332
四半期純利益	983	715
親会社株主に帰属する四半期純利益	983	715



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	983	715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,758	610
繰延ヘッジ損益	△3	1
退職給付に係る調整額	△16	20
その他の包括利益合計	△1,778	632
四半期包括利益	△794	1,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△794	1,348
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,422	1,048
減価償却費	1,088	1,117
持分法による投資損益(△は益)	△12	△5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△127	△73
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△51	1
受取利息及び受取配当金	△282	△293
支払利息	40	50
有形固定資産売却損益(△は益)	△31	△0
有形固定資産除却損	16	43
売上債権の増減額(△は増加)	△262	19
たな卸資産の増減額(△は増加)	14,049	11,701
前払費用の増減額(△は増加)	△150	△172
未収入金の増減額(△は増加)	374	637
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△5,949	△6,103
仕入債務の増減額(△は減少)	3	△406
未払消費税等の増減額(△は減少)	△155	△40
その他の流動負債の増減額(△は減少)	2,821	2,553
その他	△10	△24
小計	12,782	10,050
利息及び配当金の受取額	282	293
利息の支払額	△53	△63
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△430	△384
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,580	9,896
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△610	—
定期預金の払戻による収入	610	650
有価証券の取得による支出	△1,500	—
有形固定資産の取得による支出	△920	△993
有形固定資産の売却による収入	545	20
貸付けによる支出	△15	△9
預り保証金の返還による支出	△91	△85
その他	△49	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,030	△432
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,920	1,830
短期借入金の返済による支出	△9,620	△11,620
長期借入れによる収入	160	130
長期借入金の返済による支出	△70	△70
配当金の支払額	△1,130	△707
自己株式の売却による収入	24	11
その他	△8	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,726	△10,435
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,823	△971
現金及び現金同等物の期首残高	9,485	10,743
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,308	9,772

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## ①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰延べております。

## ②税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,504	1,132	3,949	1,689	764	27,039	603	27,643
セグメント間の内部 売上高又は振替高	90	14	7	13	58	184	2,271	2,455
計	19,594	1,147	3,956	1,703	822	27,223	2,875	30,099
セグメント利益 又は損失(△)	737	△22	△26	156	425	1,269	△125	1,143

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,269
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△125
セグメント間取引消去	47
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,191

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	17,164	1,101	4,119	1,210	755	24,353	509	24,862
セグメント間の内部 売上高又は振替高	92	11	7	0	55	166	1,981	2,148
計	17,257	1,113	4,127	1,210	811	24,519	2,491	27,010
セグメント利益 又は損失(△)	384	9	101	29	413	938	△131	806

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	938
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△131
セグメント間取引消去	59
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	866